

チャペル週報

No.19

2016.10.17 ~ 10.21

あなたがたは、もっと大きな賜物を受けるよう
熱心に努めなさい。

(コリントの信徒への手紙一12章31節a)



吉岡記念館とランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

10月17日(月) ランバスチャペルアワー「演じるチャペル」ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

神 ランバスチャペルアワーに合流
経 音楽チャペル ゴスペルクワイア"P.O.V."
人 武田 丈(人間福祉学部教授)
理 音楽チャペル バロックアンサンブル
聖和 聖書物語「歌う人」

10月18日(火) 神 安田 典子(神学研究科M1)
文 岩野 祐介(神学部教授)
社 一文字シリーズ「言」⑥ 山本 有紀(日本キリスト教団尼崎教会牧師)
法 アジア保健研修所 海外研修生報告
経 舟木 讓(宗教主事)
商 柿原 武史(商学部教授)
国 聖書に学ぶ③ 平林 孝裕(宗教主事)
理 前川 裕(宗教主事)
総 音楽チャペル KG Blessed Choir
教 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)

10月19日(水) 神 レコードチャペル 土井 健司(神学部教授)
社 上ヶ原ハピタット
法 成安 有希(ヒューマンサービス支援室職員)
経 応援団総部吹奏楽部
商 音楽チャペル 聖歌隊
人 嶺 重 淑(宗教主事)
国 音楽チャペル① ゴスペルクワイア"P.O.V."
理 前川 裕(宗教主事)
総 若林 一 義氏(日本キリスト教団神戸栄光教会副牧師)
教 末 永 健 祐(宗教総部長)

10月20日(木) 神 学生YMCA
文 Gold Experiences Quartet & Master Mind(音楽チャペル)
社 一文字シリーズ「言」⑦ 打樋 啓史(宗教主事)
法 三宅 直基(特定非営利活動法人かめのすけ)
商 音楽チャペル バロックアンサンブル
国 English Chapel 服部 欧右(ルワンダの学校を支援する会代表)
総 フィリピンの女性と子どもと一緒に歩む学生団体「くじら」
聖和 幼稚園・保育所実習を終えて

10月21日(金) 神 打樋 啓史(社会学部宗教主事)
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)
人 New Directions(アカベラカルテット)・広瀬 康夫(グリークラブ技術顧問)
院 永田 雄次郎(文学部教授)
理 大宮 有博(法学部宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
10月21日(金) キャリアセンターのために 森田 光男(キャリアセンター長)

Mastery for Service?

Hans Peter Liederbach

近頃、学生から「社会に役に立つことを勉強したい」と言われることがある。一見して、関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”にぴったり合う、素晴らしい発想であるかのようだ。しかし、この発想には一種の曖昧さが潜んでいる。いうまでもなく、「社会に貢献したい」という気持ちは高く評価すべきだ。しかし、学習・勉学とは社会貢献のために行われる営みなのか。さらに言えば、勉学とは、ある目的のための手段であるべきなのか。

今年のノーベル医学生理学賞を受賞した東京工業大学の大隈良典栄誉教授が、朝日新聞の取材にこう語った。「この研究をしたら役に立つというお金の出し方ではなく、長い視点で科学を支えていく社会の余裕が大事」。国は近年、成果がすぐに見込めそうな研究に競争的資金を重点的に助成している。基礎研究には競争的資金は見合わない。こうした傾向に対する苦言であろう。教授は、ノーベル賞の賞金を若手研究者の支援に活用するという。「国が産業応用など実用的な成果を重視するあまり、その土台となる基礎研究力が低下するのではないかという危機感」が背景にある。単なる社会的効果を目指す勉学・研究は、結局のところ表面的な結果に至る危険性をはらむ。政治、社会、経済界の要求からの自由がなければ、勉学・研究の名に値するものは成立しないだろう。

ヨハネによる福音書8：32に「真理はあなたを自由にする」という言葉がある。これは社会学部のモットーでもある。この「真理」とは、元来は宗教的な真理だが、現在の私たちが携わる勉学・研究が追究する真理とも解釈できよう。そして、この意味での真理がもたらす自由は、結局のところ、既存の政治・経済・社会的状況を批判的に検討する自由でもあるはずだ。なぜなら、少なくとも広義の人文科学における真理を目指す勉学・研究が考察対象にしているのは、まさにこの政治・経済・社会だからである。それゆえ、「社会に役に立つ勉学」とは、単にその政治・経済・社会の枠内での勉学ではなく、その枠を超えるものでなければならない。

「社会への奉仕・貢献 (Service)」をめぐる問題は、結局はそのための「練達 (Mastery)」をいかに理解すべきか、という問題だ。論文が書きやすく、研究費も得やすい「流行」のテーマに転ずることなく、ひたすら自らの研究を貫いた大隈教授のように、今自分に何か引っかかる問題があるなら、その問題にじっくり付き合ってみてはどうだろう。練達には時間が必要なのだ。

(社会学部教授)

●チャペルオルガニスト募集(対象:理工、総合政策学部生)

関西学院では毎年チャペルオルガニストを募集しており、秋学期は10月22日(土)にオーディションを行います。採用されますと個人レッスン(有料)を受けることができ、チャペルの演奏をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

募集要項・応募用紙の入手先

・ホームページ

関西学院大学ホームページからダウンロードできます。

・電子メール

organist@kwansei.ac.jpにあなたのキャンパス名を書いたメールを送信してください。
返信で送ります(添付ファイルが受信可能なメールアドレスからお送りください)。

・事務室

宗教センター(吉岡記念館1階)、神戸三田キャンパス事務室(アカデミックコモンズ1階)に置いています。



QRコードリーダー対応の携帯電話をお使いの方は、左記のQRコードからアクセスしてください。

応募期間: 9月20日(火)~10月20日(木)の事務室開室時間

お問い合わせ・資料請求: 宗教センター オルガニスト募集担当

電話: 0798-54-6018 E-mail: organist@kwansei.ac.jp

●オルガン音楽の泉 2016 Fall Semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第14回 10月18日(火) 能島 亜未(本学オルガン講師)

第15回 11月15日(火) 北村 あゆ美(ドイツ・ハンブルグ在住、Ev.Hoisbüttel Gemeindeオルガニスト)

第16回 11月25日(金) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

いずれも12:50~13:20[開場12:40予定]

ところ: 関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催: 宗教センター

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月17日(月)「演じるチャペル」

11月21日(月)

ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)10:35~11:05

*ランバスチャペルアワー委員会は、共にチャペルをつくる学生を募集しています。

興味のある方は、吉岡記念館事務室・宗教センターに声をおかけください。

●大阪梅田キャンパスチャペルアワー

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50~18:20 1405号教室)

10月主題: 「W.R.ランバス日本宣教130周年を覚えて」

10月20日(木) Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

10月27日(木) 舟木 讓(宗教総主事)

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマススペーヴェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

開催日時: 12月22日(木) 17:30開場 18:30開始 21:00終了予定

会場: ザ・シンフォニーホール

参加費(入場料): 2,000円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売: 10月17日より下記にてお求めください。

関西学院大学生協(tel.0798-53-5150)

チケットぴあ Pコード 311-006

ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内)

サークルKサンクス/ファミリーマート

お問合せ: 関西学院宗教センター(tel.0798-54-6018)

主 催: 関西学院 共催: 関西学院後援会・関西学院同窓会